

3 将来の夢や目標

市長 皆さんの将来の夢や目標を教えてください。



山崎さん (大学2年生)

山崎 自分は小学生のときから学校の先生になりたいと思っていました。今、大学では教育学部で勉強していて、将来は中学校の社会科の先生になりたいと思っています。教育学部でなくても教師にはなれると思いますが、自分はそもそも教育とは何かを知りたくて、教育のこと、子どものことをしっかり学んで、学校の先生になりたいと思いました。よく「最近の若い子は……」と良くない話をされることもあります。が、「今の若い子はすごいね」という、好意的な反応にしていけたらと思っています。良い人が育てばもっと良い国になると思うので、それを目指して学校の先生になりたいです。

小山 おうち時間が増えて自分はどういう人になりたいかを考えていました。そのときに十人十色という四字熟語がありますが、一人一色である必要があるのかな？って考えたんです。十人百色、一人が十色くらい持っていても、その色をみんなが受け入れられるという、そういう社会をつくれるような人間になればと考えています。SDGsの観点で言うと、ジェンダー平等、男だから、女だから、高齢者だから、若者だから……そういう枠組みのない社会に憧れがあります。

芳賀 漠然としか考えられていないのですが、音楽をやっている、いろいろな人に聴いてもらえるのは、すごく幸せなことです。そうやって、自分の力で誰かを笑顔にしたいと思っています。音楽に限らず、社会

に出たらたくさんの人との関わりができると思います。その人たちをいかに笑顔にできるか、幸せにできるか。自分がプラスの存在になることを目標にしています。まずは身近な人から大切にしていって、その結果として巡り巡って僕も幸せになればと思っています。

塚越 今までの人生でいろいろな人に支えられてきたことが多かったので、社会に出たら今度は自分がたくさんの人を支えられる人間になりたいと思っています。大学で金融関係を学んでいるので、将来は人を支えて、なおかつ、金融業務のできる銀行などで働いて、いろいろな人の挑戦を資金面で支えていけたらと思います。西東京市にもすごくお世話になっているので、市や地域にも関わられる仕事をしたいです。

4 西東京市にどのようなまちになってほしい？

市長 西東京市がどんなまちになってほしいか、皆さんの意見を聞かせてください。



芳賀さん (大学3年生)

芳賀 この話を一番、市長さんとしていたと思っています。大学のコミュニティで友達と話していると、「西東京市ってどこ？」と聞かれます。こんなに魅力的で良いまちなのに、西東京の良さが全然伝わってないことが僕は悔しいです。クリスマスシーズンのイルミネーションはすごいし、田無神社はパワースポットで有名です。西東京市出身の有名人も多いし、「ドラえもん」や「クレヨンしんちゃん」のシンエイ動画もある。多摩六都科学館にはギネスに載るようなプラネタリウムもあります。こんなに良いまちはないと思



うので、もっと多くの人に良さを知ってほしいです。どうか市の外に我らの西東京市の魅力を広める活動をお願いします。

市長 シティープロモーションはとても大事です。同時に西東京市の魅力を紹介していくことで、市民の方の愛着にもつながると思うので、力を入れていきたいです。

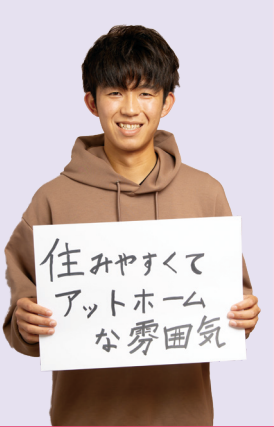
塚越 西東京市を盛り上げていくためには若い人の自立が大事だと思うので、若い人がもっと市のことや政治を学べたりする、ワークショップのような機会をつくってもらえたらと思います。

小山 市長さんの「子どもがど真ん中のまちづくり」という所信表明を見て、本当にそのとおりだなと思いました。子どもを中心にまちをつくることで、親や学校の先生、地域のコミュニティの輪が広がりやすくなると思います。

山崎 子どもがいないと子ども中心の政策もできないと思うので、子どもを産めるための支援も大事にしてほしいなと思います。少子高齢化社会といわれますが、医療の発達によって寿命が延びたのはいいことなので、高齢化はいいと思います。でも、子どもが少ないことは大きな問題です。子どものことに関しては西東京市に頑張ってもらいたいと思っています。少子化は日本全体の共通課題でもあります。先陣を切って西東京市から子どものためのまちづくりをしてほしいです。

市長 今、目指そうとしているのが、子どもにやさしいまちづくりです。環境問題、教育問題、ハード面でのまちづくりも含めて、将来の子どもたちのために、何をやるべきかを判断基準として、政策判断をするべきだと思っています。

西東京市の好きなところ、魅力



西東京市にどんなまちになってほしい？



対談や写真撮影などは、感染症対策を講じながら行いました。



市長の締めあいさつ

短い時間でしたがお話ができて、皆さんの気持ち（西東京市愛）がすごく伝わってきました。令和3年から5年にかけて準備し、6年からスタートする市の最上位計画である「総合計画」を中心に市政はこれから動いていきます。その中にはSDGsの概念を入れていきますし、「子どもにやさしいまち」を目指していきます。それが将来、西東京市がもっと良くなっていくことにつながっていくと思います。皆さんは大学2年生、3年生ということで、次世代を担う方々だと思います。西東京市をこれからも支えていく、そんな大人になっていただけるように期待しています。本日は本当にありがとうございました。